

➤ 東海市は、名古屋市近郊にあり森林面積が少なく、愛知用水等を通じて水が供給されており、水源地の森林の恩恵を大きく受けている。水源地にあたる長野県木祖村の協力のもと、森林環境譲与税を活用し水源地の森林整備、木材利用を促進していく。

➤ 令和6年度においては、森林環境譲与税を活用して、市内中学校1校の下駄箱及び小学校1校の教室背面ロッカーを長野県産桧材を使用し制作された下駄箱及び教室背面ロッカーに更新をした。

## □ 事業内容

### 中学校下駄箱及び小学校の教室背面ロッカーの更新事業

- ・長野県木祖村が、長野県産桧材を使用して作成している下駄箱及び教室背面ロッカーを購入し、市内小中学校2校の下駄箱及び教室背面ロッカーを更新。

【事業費】 15,033千円（うち譲与税13,157千円）

【実績】 木材使用量15.1㎡

## □ 取組の背景

- ・子ども達に木材の温かみを感じてもらおうと共に、老朽化が進んでいる下駄箱及び教室背面ロッカーを計画的に更新するため。



（更新した下駄箱の様子）

（更新した教室背面ロッカーの様子）

## □ 工夫・留意した点

- ・子ども達が日常的に使用する下駄箱及び教室背面ロッカーの設置に活用すると共に、設置場所や子ども達に合わせた木材の温かさと香りの溢れるオーダーメイドの下駄箱及び背面ロッカーとしている。

## □ 取組の効果

### 子ども達からの声

- ・昇降口が明るくなり、木の香りに包まれて朝から気持ちが良い。
- ・一人用に区切られたロッカーで使いやすい。
- ・木の色が明るくて教室が明るい雰囲気になった。
- ・教室にヒノキの香りがして自然を感じ落ち着く。
- ・掃除道具入れもきれいになり、使いやすくなった。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：13,157千円	②私有林人工林面積（※1）：6ha	
③林野率（※1）：2.0%	④人口（※2）：113,787人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より